

## 三学園構想を推進する、蒲生学園の校舎建設等の契約議案の否決について

2022/9/19

白川秀嗣

9月越谷市議会で、9月14日に子ども教育常任委員会が開催された。この中で市長提出議案として蒲生地区で令和8年開校予定で計画されていた、三学園構想のモデル校としての校舎建設等の契約議案の承認が、自民、公明、刷新クラブ、共産の反対で否決された。

143億と言う越谷市始まって以来の大型公共工事であり、また民間のノウハウや資金力を活用するPFI事業である事も否決の影響が極めて大きく、開校予定は大きくずれ込むか、または一旦白紙になるのかという点も今後の大きな課題となる。

契約議案の否決により、今後子どもたちの仮設校舎等の事業費に7億5000万円をはじめ、仮に運動場の確保等となればこれから20億円もの事業費が想定されている。落札したグループ内企業は勿論、何よりも子どもたちへの影響が何より大きい。

私自身は、この三学園構想が令和2年9月議会の事業委託費として補正予算に計上されて以来、これまで6回にわたる議会での関連議案に反対して来た。

それは、本来の意味での小中一貫教育を進めるのであれば、子どもたちを取り巻く学校や地域や社会を変えて行くための、自治の中心としての学校の在り方を、文字どおりコミュニティスクールとして建設、運営していく市民や保護者や当該地区の関係者との徹底した合意形成が前提と考えるからだ。

そのためには教育委員会は学校運営協議会への説明や意見聴取を始め140億円もの事業費の説明や負担、イジメや不登校や虐待等の実態や課題解決のために問題提起が必須となる。つまり地域総がかりの運動が必要とされる。

しかし、この間コロナ禍の中で貧困や格差のこれらの問題が可視化されたにも拘わらず、正面から市民や保護者との話し合いの脆弱性を克服出来ていない現実がこの2年間続いている。

これらの点について、議会の中で事あるごとに指摘し、提案をして来たが、議案は全て賛成多数で可決されて来た。

今回の契約議案が9月28日の本会議場で否決されることになれば、改めて当該の蒲生地区の市民には勿論、市全体で今後の三学園構想の取り組みを始め小中一貫教育を進めて行く意義や目的、そして市民に対する説明や情報の公開、計画策定や実施の当事者として市民参加を展開する契機として行くべきだろう。

なお、これまでの三学園関連の議案に対する、私の判断と意見は以下を参照して頂きたい。令和2年9月議会から令和4年6月議会までに、三学園構想の関する（校舎建設や解体工事契約）市長提出議案に以下の様に反対して来た。

その理由は、本会議場での市長への質疑（令和3年6月議会）や反対討論（令和2年9月議会・令和3年6月議会）を参照。

- 1、令和2年9月議会 一般会計補正予算 83号 三学園構想業務委託
- 2、令和3年6月議会 一般会計補正予算 74号 同 アドバイザリー契約
- 3、令和3年9月議会 越谷市学校設置条例の改正 同 基本方針
- 4、令和3年12月議会 一般会計補正予算 同 債務負担行為
- 5、令和4年3月議会 令和3年度当初予算 同 関連事業
- 6、令和4年6月議会 53号議案 同 蒲生小学校解体契約  
議会中継動画

①令和2年9月議会 質疑と答弁

[https://koshigaya.gijiroku.com/g07\\_Video\\_View.asp?SrchID=698](https://koshigaya.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=698)

②令和3年6月議会 質疑と答弁

[https://koshigaya.gijiroku.com/g07\\_Video\\_View.asp?SrchID=897](https://koshigaya.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=897)

③令和3年6月議会反対討論

[https://koshigaya.gijiroku.com/g07\\_Video\\_View.asp?SrchID=913](https://koshigaya.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=913)

以上の様に、令和2年9月から三学園構想の提案スタートから、約2年間、今日まで提案された三学園構想では今日複雑化、多様化する教育現場や社会的問題の解決にならないとの理由で一貫して反対の姿勢で臨んで来た。

しかし全て反対は少数（その中で令和3年12月議会での債務負担行為では私一人反対）で議案は賛成多数で全て可決されて来ている。

以上